

米沢興讓館高校SSH通信

2 学年探究活動中間発表会

10月23日(木)本校体育館を会場に、2学年の探究活動の中間発表会を行いました。54班(科学研究領域27班、プロジェクト型領域27班)が研究内容・手法をポスターセッションにより相互に確認しました。外部有識者の方々を審査員としてお招きし、いただいた助言や他の研究内容との比較を通して2月の発表会に向け探究内容の質的向上を図るとともに、探究活動の発表を通して表現力・質問力を養うことができました。1年生においては、今後の探究活動の到達目標のイメージを作ることができました。

令和7年度 探究活動中間発表会 審査結果		
科学研究領域		
表彰	コース	テーマ
最優秀賞	5.機械	帯電したスペースデブリとデブリ回収機の静電気力による回収の可能性
優秀賞	5.機械	二重反転式サボニウス型風車の発電量の検証
優秀賞	8.バイオ	環境DNAを用いた山形県置賜地方における野生メダカの継続調査
優秀賞	8.バイオ	山形県置賜地域におけるセンザンサンショウウオとパンエツサンショウウオの生息域調査～環境DNA調査用プライマーの設計と特異性検討～
優良賞	2.人文学	絵本における役割語とキャラクター像～統計的分析を通して～
優良賞	8.バイオ	環境の変化に伴う樹木の窒素吸収速度の変化

プロジェクト型領域		
表彰	コース	テーマ
最優秀賞	1.地域	混雑から流動へ～バスで変わる交通の未来～
優秀賞	4.ライフ	パンに負けるな!おにぎりの逆襲～おにぎりが救う米離れ～
優秀賞	4.ライフ	食べることは悪なのか～体型維持をめぐる理想と現実～
優良賞	6.デザイン	一枚のカルタで未来への物語をめぐる～ゴミ分別区分をわかりやすく理解できるカルタゲームデザイン～
優良賞	9.医療	"行けない"を"行ける"へ～医療MaaSで地域とつなぐ新アクセスモデル～



科学研究領域【最優秀賞】

探究活動を通して

2年 女子生徒2名
(帯電したスペースデブリとデブリ回収機の静電気力による回収の可能性班)

この度、最優秀賞をいただいたことを大変光栄に思います。私たちの研究班は、地球軌道上に漂うスペースデブリ(宇宙ゴミ)の静電気を用いた回収の効率化を目標に研究を進めてきました。中間発表までに、デブリの酸化の有無による吸着挙動の差についての実験を行い、結果と考察をまとめることができました。限られた時間の中でしたが、班の中で話し合いを何度も重ねた上で工夫しながら進めることができ、我ながら良い研究結果になったと思います。当日は声量や話すスピードの他、アイコンタクトや研究を面白そうに話すことを意識して発表しました。結果、見に来てくださった方々に、研究に対する熱意を伝えることができ良かったです。この研究にご協力してくださった全ての方に心から感謝申し上げます。今後は中間発表会でいただいたアドバイスをもとに課題を見つめ直し、2月の最終発表に向けて研究を進めていきたいです。

プロジェクト型研究領域【最優秀賞】

混雑から流動へ～バスで変わる交通の未来～

2年 女子生徒3名
(混雑から流動へ～バスで変わる交通の未来～班)

昨年度、積雪により興讓館前の道路が渋滞しました。本校生徒を対象としたアンケートによると、渋滞により遅刻した人は回答者206人中37人いることがわかりました。公共交通機関の利用者が増えれば、自家用車の送迎が減り、渋滞が緩和すると考えたため、バス利用促進の活動を行うこととしました。

昨年度より、南回り線が見直され学園都市線として運行していますが、本校の利用者の多くが不便だと感じています。本数不足や定員超過でバスに乗り切れない、バス停の環境、電車との接続などの課題があります。

利用促進ポスターの掲示や米沢市役所の協力を得てバスの路線見直しを進めています。今後は校内の新たな通り道の検討、南米沢発の冬季増発便、バスの乗り方講座、交通安全委員との連携などを進め、より良い学校生活づくりを目指していきます。

